

第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法規 12問
無線工学 12問 } 24問 1時間

法 規

〔1〕 無線局の免許人が混信を除去するために電波の型式及び周波数の指定の変更を受けようとするときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. その旨を総務大臣に申請する。
2. 総務大臣に免許状を提出し、訂正を受ける。
3. その旨を総務大臣に届け出る。
4. あらかじめ総務大臣の指示を受ける。

〔2〕 船舶に設置する無線航行のためのレーダー（総務大臣が別に告示するものを除く。）は、何分以内に完全に動作するものでなければならないか。次のうちから選べ。

1. 1分以内
2. 2分以内
3. 4分以内
4. 5分以内

〔3〕 第二級海上特殊無線技士の資格を有する者が、船舶局の空中線電力10ワット以下の無線電話で国内通信のための通信操作を行うことができる電波の周波数の範囲はどれか。次のうちから選べ。

1. 1,606.5kHz以下
2. 1,606.5kHzから4,000kHzまで
3. 4,000kHzから21,000kHzまで
4. 21,000kHzから25,010kHzまで

〔4〕 無線局の免許人は、その船舶局が遭難通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
2. その通信の記録を作成し、2年間これを保存する。
3. 船舶の責任者に通報する。
4. 速やかに海上保安庁の海岸局に通知する。

〔5〕 無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

1. 5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。
2. 電波法若しくは電波法に基づく命令又はこれらに基づく処分に違反したとき。
3. 刑法に規定する罪を犯し、罰金以上の刑に処せられたとき。
4. 日本の国籍を有しない者となったとき。

〔6〕 船舶局の免許状は、掲示を困難とする場合を除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

1. 受信装置のある場所の見やすい箇所
2. 航海船橋の適宜な箇所
3. 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所
4. 船内の適宜な箇所

第二級海上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 に対して行われる無線通信を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

1. すべての無線局
2. すべての相手方
3. 総務大臣が告示する無線局
4. 特定の相手方

〔8〕 船舶局の遭難呼出し及び遭難通報の送信は、海岸局又は他の船舶局から応答があるまでどうしなければならないか。次のうちから選べ。

1. 応答があるまで、必要な間隔をおいて反復しなければならない。
2. 他の無線局に妨害を与えるおそれがある場合を除き、反復しなければならない。
3. 少なくとも3分間は、反復しなければならない。
4. 少なくとも5回は、反復しなければならない。

〔9〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信しようとするときに応答事項の次に送信する略語はどれか。次のうちから選べ。

1. 送信してください
2. OK
3. 了解
4. どうぞ

〔10〕 無線局が無線電話の機器の試験のため電波を発射しているときにしばしば確かめなければならないものはどれか。次のうちから選べ。

1. 空中線電力の許容偏差を超えていないかどうか。
2. 他の無線局から停止の要求がないかどうか。
3. 周波数が許容偏差を超えていないかどうか。
4. 受信機が最良の感度に調整されているかどうか。

〔11〕 156.8MHzの周波数の電波を使用することができないものはどれか。次のうちから選べ。

1. 遭難通信を行う場合
2. 呼出し又は応答を行う場合
3. 緊急通信（医事通報に係るものにあつては、緊急呼出しに限る。）を行う場合
4. 安全通信（安全呼出しを除く。）を行う場合

〔12〕 船舶局が無線電話による緊急信号を受信したときは、遭難通信を行う場合を除き、少なくとも何分間継続してその緊急通信を受信しなければならないか。次のうちから選べ。

1. 10分間
2. 5分間
3. 3分間
4. 2分間